

第63回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和4年8月26日（金）18：00～19：30

2. 会場：原則WEB参加

3. 委員（敬称略 五十音順）

岡部 信彦	川崎市健康安全研究所 所長
金井 忠男	埼玉県医師会 会長
川名 明彦	防衛医科大学校 教授
小谷野 和博	埼玉県中小企業団体中央会 会長
近藤 嘉	日本労働組合総連合会埼玉県連合会 会長
坂木 晴世	国際医療福祉大学大学院 准教授
讚井 將満	自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長
竹田 晋浩	かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長
松田 久美子	埼玉県看護協会 会長
光武 耕太郎	埼玉医科大学国際医療センター 教授
三村 喜宏	埼玉県商工会連合会 会長

4. 県側参加者

大野 元裕	知事
高田 直芳	教育長
小野寺 亘	総務部長
金子 直史	福祉部長
三須 康男	危機管理防災部長
山崎 達也	保健医療部長
本多 麻夫	保健医療部 参事
板東 博之	産業労働部長
岸本 剛	衛生研究所 副所長

5. 主な意見

ア 現状の分析・評価について

- 陽性者数は高止まりしている状況であり、引き続き注視が必要である。
(岡部委員、川名委員、光武委員、坂木委員)
- 文部科学省のガイドラインについて、複数の陽性者間の感染経路の関連性の有無を、教員が判断するのはなかなか難しいのではないかと。(岡部委員、坂木委員、光武委員、川名委員)
- 観光応援キャンペーンについては異議なし。(一同)

イ BA.5 対策強化宣言の延長について

- BA.5 対策強化宣言の延長について賛成である。(一同)
【県の対応】
 - 県内の感染状況及び委員の意見を踏まえ、埼玉県における BA.5 対策強化宣言について決定した。(8月26日開催第82回新型コロナウイルス対策本部会議において決定。)

ウ 発生届の限定について

- 現時点では、現場の混乱を避けるために埼玉県の方針案のとおりでよいが、いずれは他の病気のように、定点観測と重症例報告を行う対応とすべき。(岡部委員、光武委員)
- 医師会での会議では、診療・検査医療機関は従前どおり対応できるという意見であった。(金井委員)。
- HER-SYS の入力など現場の労力が大きければ、ワクチン接種回数など入力を省略できる項目もあるはずである。可能であれば、全数把握を継続してほしい。(川名委員)
- 発生届を限定すると発生状況のトレンドは見られなくなってしまう。トレンドを見失わないという意味では、今その決断をする時期ではない。患者の保護とトレンドの把握は切り離して考えるべき。(坂木委員)
- 埼玉県の方針案に賛成である。(一同)
【県の対応】

- 方針案のとおり、本県は当面、発生届に関する見直しは行わない。